

第32回 J J B F 埼玉県中学生野球選手権大会 要項 (案)

2019.02.09 版

1 目的

- ・ 本大会は、中学校教育の一環として、野球の実践機会を与え、技能の向上と共に、スポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成すること。
- ・ 本大会は野球を通じて、中学生の親睦と野球技術の向上および野球の普及を図ること。

2 主催 JJBF 埼玉県中学生野球連盟

3 後援 ナガセケンコー株式会社 武蔵ヒートベアーズ

4 期日

1st ステージ

☆多3チームによるリーグ戦

6月 1日 (土)・6月 2日 (日)・6月 8日 (土)・6月 9日 (日)・
6月15日 (土)・6月16日 (日)・6月22日 (土)・6月23日 (日)・

↓

2nd ステージ

☆多8ブロック×3チームのリーグ戦

6月29日 (土)・6月30日 (日)・7月 6日 (土)・7月 7日 (日)

↓

3rd ステージ

☆多8チーム (各ブロックの1位) 4チームずつのトーナメント

7月13日 (土)・7月14日 (日)・7月15日 (月祝)

↓

F I N A L

☆多2チーム

7月20日 (土) 於・川越初雁球場

※予備日 7月25日 (木) : ファイナル進出チームの都合により変更あり。

5 リーグについて (表彰および上部大会について)

今大会は、「POWER-League」と「CHALLENGE-League」のどちらか一方を選択し、参戦してもらいます。同時に大会を進行するように運営します。

- (1) 「POWER-League」: 従来の大会と同じ。選抜チームなども参加可です。優勝チームは、全国大会への出場権を得ます。

※表彰および上部大会

優勝 優勝旗 優勝盾 賞状 準優勝 準優勝楯 賞状 3位 3位楯 賞状

- ◆ 「POWER-League」の優勝チームおよび上位入賞チームは以下の大会などに推薦します。

- (1) 全国中学生野球 岩手大会 (8月9日 (金) ~ 12日 (月))
(2) 東京オープン
(3) 神奈川県での大会

- (2) 「CHALLENGE-League」: 野球が好きで、力を一歩ずつつけていますが、「チームの人数が少なく (2, 3年生が15名以内)」「中学校から野球を始めた選手が多い」など発展途上のチームによる大会。

※表彰および上部大会

優勝 優勝盾 賞状 準優勝 準優勝楯 賞状 3位 賞状

- ◆ 「CHALLENGE-League」の優勝チームは以下の大会に推薦します。

(※現在調整中)

※また今大会の出場選手の中から、優秀選手を選抜し、平成31年度 (2019年度) の埼玉選抜の選手選考の参考とします。

- 6 使用球およびバット ①M号球
 ②試合に際して、**2球ずつ**キャプテントスの時に持参する。
 ③バット：JSBBの認定を受けているバットは使用可（複合素材も含め）また中学生硬式や準硬式のバットも使用可。
- 7 参加資格 県内中学校在籍または在住の中学生によって構成されたチーム
 また審判に協力できるチーム。

8 審判の役割分担について

(1) 1st STAGE 3チームリーグ戦 (A、B、Cの3チームによる)

- 第1試合 A 対 B (審判Cチームから4名)
 第2試合 C 対 第1試合**負け** (審判第1試合**勝ち**から4名)
 第3試合 C 対 第1試合**勝ち** (審判第1試合**負け**から4名)

※4名の審判が出せない場合には、3審制でも可。大人(顧問、コーチ、保護者)を原則としますが、会場での協議によって同意を得た場合には、選手も可。

※審判費として、1会場3000円まで支払います。(3名×1000円)少額で申し訳ありませんが、よろしくお祈いします。

(2) 2nd STAGE (3チームのリーグ戦 ①、②、③の3チームによる)

- 第1試合 ① 対 ② (審判③チームから4名)
 第2試合 ③ 対 第1試合**負け** (審判第1試合**勝ち**から4名)
 第3試合 ③ 対 第1試合**勝ち** (審判第1試合**負け**から4名)

(3) 3rd STAGE トーナメント (1、2、3、4の4チームによる)

- 第1試合 準々決勝① 1 対 2
 (審判2nd STAGEで 1、2に敗退した4チームから4名)

- 第2試合 準々決勝② 3 対 4
 (審判2nd STAGEで 3、4に敗退した4チームから4名)

- 第3試合 準決勝 第1試合**勝ち** 対 第2試合**勝ち**
 (審判 第1試合**負け**、第2試合**負け** から2名ずつ)

(4) FINAL 決勝戦 ※審判は連盟から

9 参加費等 ※大会初日に、会場チームにお渡しください。

- (1) 参加費 1チーム 4,000円
 (2) プログラム代 プログラム1部 500円 × 注文数
 ※プログラムは、最低登録人数分の購入をお願いします。

10 競技規則

- ① 回数は7イニング以内までとする。試合時間は100分間以内とする。
 ② 100分を超えて新しいイニングには入らない。
 ③ **延長戦はなし**。リーグ戦の場合は引き分けとする。トーナメントの場合、以後はタイブレーク(継続打順による**一死満塁**スタートの特別延長戦)を行う。これを2回繰り返しても同点の場合は、最終出場選手9人による抽選により決着をつける。ただし決勝戦は時間制限なしで決着がつくまで繰り返す。
 ④ 投手の投球イニングは、1日につき7イニングまでとする。(タイブレークの場合は含まない) ※この「投球回数7イニング」とは「21アウト」である。

例

A投手が6イニングを投げ、7イニング目に四球、四球、四球で無死満塁を作り、B投手と交替し、B投手が7イニング目を投げ抜き3アウトをとった場合には、A投手は、同日の試合では、あと1イニング(3アウト)登板することが可能である。(またB投手は、同日の試合では、あと6イニング(18アウト)登板することが可能である。)
 ※20アウトを投げ、次の打者でダブルプレーが成立した場合には、特例として22アウトを投げる
 ことができる。

④-特別：3チームリーグ戦または4チームトーナメントで、「雨天順延」や「試合日程の関係」で1日で同一リーグが消化できない場合の投手の投球制限について（条件の平等化について）

7月○日（土） A 対 B Aは埼玉投手が7イニング投げた。Bの群馬投手が3イニング、茨城投手が4イニング投げた。

雨天のため、翌日に順延

7月△日（日） A 対 C Aは埼玉投手は投げられない。（ただし（リーグ戦はないが）タイブレークになった場合は投げられる。）
Cは千葉投手が2イニング、東京投手が2イニング、栃木投手が3イニング投げた。

↓ **この場合？**

B 対 C Bは、群馬投手は4イニング、茨城投手は3イニング投げることができる。

Cは、千葉・東京両投手は5イニングまで、栃木投手は4イニングまで残り投げることができる。

⑤コールドゲームは**5回以降7点差**とする。

⑥ベンチはトーナメント表の番号の若いチームを1塁側とするが、リーグ戦の場合には、別途指定する。

⑦打者、走者、コーチャーはヘルメットを着用する。捕手はサポーターカップ着用する。

⑧最終登録は、試合前のメンバー交換時とする。（本大会において**同一選手が複数のチームでの複数回の出場は認めない。**ただし、**女子選手**の場合、出場機会の確保という観点から自チームおよび女子選抜チームでの登録・出場を特別に許可する。）

⑨背番号を着用した成人の監督・コーチはベースコーチに入ることができる。

⑩リーグ戦に関する規則（A、B、Cの3チームでのリーグ戦の場合）

a 第1試合を「A」対「B」としたとき、第2試合は、「C」対 **第1試合の「敗者」**とし、第3試合を「C」対 **第1試合の「勝者」**とする。

※ただし会場の都合で、会場のチームの同意を得られた場合、試合順はこの限りではない。

b 会場の1位～3位の決め方は、

ア：勝ち点（勝利チーム**勝ち点3**、**引き分けの場合勝ち点1**を与える。）の多いチーム

イ：失点数の少ないチーム

ウ：得失点差の多いチーム

エ：出塁数の多いチーム

※「エ」の出塁数とは、安打・四死球・相手エラー（振り逃げを含む）などで、1塁ベースに走者として残ることが認められた選手の合計とする。

例：四球1、エラー1、単打1、2塁打1、本塁打1→出塁数＝5

の順に決定する。それでも決定しない場合は、大会本部による抽選で決定する。

1 1 チームの人数 選手20名で背番号着用のこと

背番号 監督 30 コーチ 29 28 主将 10

※成人のベンチ入りはユニフォームを着用した3名のみとする。

※プログラムへの掲載は20名以上可とし、試合におけるメンバー交換時に記載された20名を出場選手とする。（ただし1チーム20名を超えて試合に出場することはできない。）

1 2 その他、お願い等

・この大会は、任意の大会であるので、出場にあたっては、保護者等への説明などを行うこと。

・**雨天以外（急な学校行事など）での日程の変更は行わない。**都合の悪い日程がある場合には大会参加の申し込み時に、**所定の様式に記入しメールにて連絡すること。**それ以外での変更は配慮しない。（子どもたちが主役であるので、できるだけ努力はするが、全県からの参加の大会のため、配慮が難しいことがあることも了解すること。）

また組み合わせが決まった後の不参加は認めない。

・何かご不明な点がある場合には、下記連絡先にメールにて行うこと。

J J B F 埼玉県中学生野球連盟 事務局 原口 saitamakbjimukyoku@yahoo.co.jp